

JACC 比較文化会報

本部事務局：〒803-0835 福岡県北九州市小倉北区井堀1丁目3番5号
西南女学院大学 観光文化学科 林裕二研究室内
会長室：〒803-0835 福岡県北九州市小倉北区井堀1丁目3番5号
西南女学院大学 観光文化学科 八尋春海研究室内
学会HP：<http://www.hikakubunka.jp/>

《巻頭言》 会長就任の挨拶

日本比較文化学会 会長 八尋 春海

このたび、2018年5月に高知大学で開催された第40回日本比較文化学会全国大会の総会において、第7代会長に選出されました八尋春海です。どうかよろしくお願ひ申し上げます。

振り返ってみますと、私がこの会に入会した1996年当時の会長は故芳賀馨先生でした。その後、会長となられる、太田敬雄先生、山内信幸先生、奥村訓代先生は、この時には既に理事として学会に貢献をなさっていました。入会直後の私は、雰囲気は格段に良かったということが強い印象として残っています。

当時、私が通っていた大学院の仲間は、当然と言えば当然ですが、それぞれの研究分野に沿った学会に所属していました。ただし、私の場合には、専門分野の学会に加えて、大学院生の中ではただ一人日本比較文化学会にも所属したのです。大学院の仲間は、所属している学会で先輩会員のいじめに悩まされていましたが、その間、私は和気あいあいとした日本比較文化学会を「隠れ家」として心地良く研究業績を積み重ねていました。

では、この学会の雰囲気の良さの源泉は何なのでしょう。芳賀馨先生を中心に1979年に設立された「東北比較文化学会」からこの雰囲気はずっと続いているようです。

本学会会員を見てみますと、本務校が同じで研究テーマが異なる会員が多いことに気づきます。おそらく自分自身の研究テーマではなく「ロコミ」で入会された可能性が濃厚です。この学会で楽しく活動している同僚を見て入会したということをよく聞きます。このように人々とのポジティブなつながりが本学会の雰囲気の良さを維持する大きな要因になっていると私は考えます。学会の掲げる研究領域だけを念頭に入会する会員が多いような他の学会とは、この点で大きく異なっていると思います。

結果として、本学会には研究テーマの異なる多くの会員が生まれることにもなっています。専門の異なる他の会員の研究発表に触れながら自分の研究テーマを「比較文化」の視点から捉えて新たな発見をする機会ができます。学際的で新たな視点による研究テーマが生まれるということで、他の学会にはなかなかない貴重なチャンスでもあるわけです。

私は、本学会の雰囲気の良さを維持することは会長の重要な仕事だと思っています。その点では、先輩会長のみなさまがそうなさってきたように、今後も若手が伸び伸びと活躍できるような組織運営を意識したいと考えています。会員のみなさまのお力添えをなにとぞ、よろしくお願ひ申し上げます。

《第40回全国大会・2018年度国際学術大会報告》

日本比較文化学会前会長・第40回全国大会準備委員長 奥村 訓代

2018年5月18日から20日にかけて、上記全国大会兼国際大会が高知大学朝倉キャンパスで開催されました。当日は、韓国日本比較文化学会並びに台湾日本語文学会、台湾日本語教育学会さらに淡江大学村上春樹研究センターといった海外協定学会からの参加も頂き、活発に研究・討論が交わされました。この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

3日間の大まかなスケジュールは、以下の通りでした。

- 1日目(5月18日・金) 理事会・編集委員会(カルポート)、海外理事交流歓迎会
- 2日目(5月19日・土) シンポジウム・講演・研究発表・総会・落語等(高知大学)
懇親会(ヨサコイ・沖縄伝統芸術、アカペラ)
- 3日目(5月20日・日) 土佐の日曜日参加

今回は、目玉に予定していた在インドネシア大使の講演が1週間前に不可能となり、急遽予定を変更し「日本文化としての落語」になったことを会場でアナウンスする形になったのが残念でしたが、この40回大会が次の50回大会や70回大会への発展と足掛かりになればと願う次第です。

海外からご参加の皆さま、理事・会員の皆さま、当日の裏方にご協力頂いた皆さま、また快くご後援を頂きました、高知県コンベンションビューロー並びに高知大学にこの場を借りてお礼申し上げます。結果的に、100名以上(述べ165人)の参加を得ることができましたこと、ご報告申し上げます。次年度は、皆さまに京都でお会いできるのを楽しみにしております。

《第41回全国大会・2019年度国際学術大会開催のお知らせ》

関西支部長・全国大会準備委員長 山内 信幸

第41回全国大会・国際学術会議を以下の要領で開催いたします。青もみじ鮮やかな京都に会員の皆様をお迎えますことをうれしく思います。研究発表の応募は以下の通りですので、奮ってご応募ください。なお、この時期、京都は、国内外からの観光客でたいへん混み合いますので、宿泊の予約は、なるべく早くされますようお願いいたします。

日時:2019年5月18日(土)

会場:同志社大学(今出川キャンパス)

シンポジウムテーマ:「比較文化の教育と研究の新潮流」

口頭発表申込み

締切:2019年2月15日(採否通知2月末日)

申込方法:「研究発表要旨(A4サイズ1枚)」を添付ファイルにして、下記の大会実行委員会(事務局)まで、「件名」を「日本比較文化学会第41回大会発表申し込み(お名前)」と記して送信してください。

要旨の作成要領:

- ・マイクロソフト社のWORDを40字×36行(MS明朝)に設定し、中央揃えの1行目に研究発表タイトル、1行あけて氏名を記載し、同一の行の()内に所属と職位をご記入願います。さらに1行あけて、A4サイズ1枚に収まる分量で日本語もしくは英語の要旨を作成してください。
- ・応募にあたっては、日本比較文化学会ホームページに掲載されている「全国大会研究発表及びシンポジウム発表申し合わせ」をご確認ください。
- ・母語以外で執筆の場合、信頼できる母語話者等のチェックを受けることが望まれます。

連絡先:大会実行委員会(事務局) 北林 利治 VZV00407[アットマーク]nifty.com

《新役員》 副会長就任の挨拶

副会長（会務担当） 山内 信幸

このたび、2018年5月に開催されました第40回日本比較文化学会全国大会臨時理事会におきまして、八尋春海会長より副会長（会務担当）の指名を受けました山内信幸です。奥村訓代前会長の時と同様に、引き続き、よろしくお願い申し上げます。八尋会長は、奥村前会長と同様に、学会としての国際通用性に鑑みまして、じゅうぶんな学識と経験を備えた方であり、リーダーシップを如何なく発揮していただけるものと大いに期待しております。現在は、各支部の「新陳代謝」を促進することが喫緊の課題ではありますが、幸いにも、若い世代の先生方にもご協力いただける体制作りも整いつつあります。八尋会長のご意向を最大限に尊重し、本学会の強固な基盤作りとさらなる発展に貢献していく所存です。八尋会長のご指導の下、従来の本学会の堅持してきた古き良きところは残しつつも、21世紀に見合う、魅力的な学会へとさらに成長していくことを願っております。

副会長（国際交流担当） 佐藤 和博

この度副会長に選任された佐藤和博でございます。よろしくお願いいたします。本学会は、いくつかの海外の学会と提携を結んでおりまして、現在のところ韓国日本文化学会、台湾日本語文学会、台湾日本語教育学会、淡江大学村上春樹研究センターと提携をしております。今後とも、さらに多くの海外の学会との交流が望まれますので、国際交流担当として、微力ながら貢献したいと考えております。会員の皆様の海外での発表機会がさらに増加するように、また、海外からの発表者が本学会でスムーズに発表できるようにしたいと考えております。よろしくご協力をお願いいたします。

副会長（研究・教育担当） 近藤 俊明

この度、研究・教育担当副会長を、もう一期継続させて頂くことになりました。一期目を振り返り、重要な役目を果たさないままに過ごしてきましたこと、反省致しております。今、本学会の発展にとって重要なことはいくつかあると思われませんが、中心は、比較文化学の方法の議論・研究ではないでしょうか。広い領域にまたがる学会ですので、各領域で研究方法が異なって自然ですが、扱う文化とそれらの比較というところで、文化とは何であるのか、何のために、どのように比較するのか、そこにどのような意義・知見を見出そうとするのか等の、共通する意識、理解が望まれます。それが進められれば、比較文化学としての大きな理論が語られるようにもなり得ることでしょう。これらのことを、この2年間で、皆様とともに一歩前に進められれば幸いです。このような決意をもって、2期目のご挨拶とさせていただきます。宜しくお願い致します。

《編集委員会報告》

前編集委員長 北林 利治

全国大会前日の2018年5月18日(金)に、『比較文化研究』の編集委員会が開催されました。以下、とくに、ご投稿にあたって関わりのある点を中心に報告します。

1. 投稿規程の改訂の件：本年度から、『比較文化研究』は年4回の発行になります。投稿の締め切りは、6月末、9月末、12末、3月末です。また、会員の年間掲載論文数は、最大2編(共著も含む)までですが、学会会計年度にあわせて、6月末日投稿締め切り号を始まりとします。
2. 奨励賞について：今年度の奨励賞の候補者はありませんでした。奨励賞の制定時に、学会・比較文化学構築への「貢献性」も重視されています。編集委員会は、奨励賞にふさわしい質の高い研究には、奨励賞の授与を理事会に推薦し、若手研究者の育成の手助けをしていきたいと考えています。
3. その他：昨年度の編集委員会の報告にもありましたが、投稿規定に「論文は、未発表のものに限る」と

あります。すなわち、博士論文や修士論文など公表済みの論文は、それをそのまま投稿することは、投稿規定に違反することになるので、受け付けられません。

最後に、今年度、編集委員長の改選にあたり新編集委員長として中村友紀先生(関東学院大学)を選出しました。新編集委員長のもと、『比較文化研究』がますます活発な議論の場となることを願っております。

以下、編集委員会で確認されたスケジュールと投稿先をまとめます。投稿にあたっては、日本比較文化学会のウェブサイトにある投稿規程を今一度ご確認いただきますようお願いいたします。

6月末日投稿締切り⇒10月末日発行⇒11月頃発送

9月末日投稿締切り⇒1月末日発行⇒2月頃発送

12月末日投稿締切り⇒4月末日発行⇒5月頃発送

3月末日投稿締切り⇒7月末日発行⇒8月頃発送

編集担当支部(投稿先)

2018年12月末日締め切り(2019年4月発行 東北支部 135号)

2019年3月末日締め切り(2019年7月発行 関西支部 136号)

2019年6月末日締め切り(2019年10月発行 中部支部 137号)

2019年9月末日締め切り(2020年1月発行 九州支部 138号)

2019年12月末日締め切り(2020年4月発行 関東支部 139号)

2020年3月末日締め切り(2020年7月発行 中国・四国支部 140号)

2020年6月末日締め切り(2020年10月発行 東北支部 141号)

《総会報告》

前事務局長 藤岡 克則

2018年5月19日(土)、第40回全国大会の会場である高知大学朝倉キャンパスにて、日本比較文化学会総会が開催されました。

はじめに前日午後開催された理事会の議を受け、2017年度事業報告、2017年度決算報告および監査報告が行われ、承認されました。続いて、2018年度事業計画について、「各支部の運営体制の強化・安定化」、「各研究部会の活性化」、「海外提携学会との更なる連携強化」、「『比較文化研究』編集方針・業務の統一化・平準化」に努めていくことが報告されました。また、2018年度の予算についても承認されました。

次に2019年度第41回全国大会および総会について、関西支部所管で同志社大学今出川キャンパスにて開催されることが承認されました。シンポジウムの題目として「比較文化の教育と研究における新潮流」が予定されています。

本年度は会長改選の年にあたり、理事会の総意として新たに八尋春海先生を選出することが提案され、総会においても承認されました。また、役員に関する下記の2018年度人事案、ならびに、前会長の奥村訓代先生の顧問就任がともに承認されました(以下敬称略)。

副会長：山内信幸、佐藤和博、近藤俊明

理事：伊藤豊、白鳥絢也、山下明昭、佐藤知条、澤田敬人、北林利治、林敏浩、砂川典子、高橋栄作、高橋強、安藤雅之、藤岡克則、山崎祐一、佐藤静、中村友紀、金志佳代子、神崎明坤、林裕二、高瀬文広

会長改選にともない、新事務局が下記の通り組織されることも承認されました。

事務局長：林裕二(総務担当)

副事務局長：高瀬文広、山崎祐一(会計担当)

事務局員：中村友紀(会報担当)、梶原雄(海外連携学会、ウェブ担当)

総会報告は以上となりますが、最後に、2014年度からの4年間、前会長の奥村訓代先生はじめ理

事の先生方、事務局の先生方、また多くの会員の皆様に支えられて事務局の仕事を何とか務め通せましたこと、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

***2017-2018 年度会計報告**は、《事務局より》の次 (p.8) に掲載しております。

《支部報告》

東北支部

*【報告】東北・関東支部合同例会

9月16日(日)、大学コンソーシアムやまがた ゆうキャンパス・ステーション(山形市)にて、東北・関東合同支部例会が開催されました。詳細は、関東支部報告をご覧ください。

*【お知らせ】東北支部総会

2019年3月に開催予定です。日時や場所など詳細については、後日お知らせ致します。

支部長 伊藤 豊

関東支部

*【報告】東北・関東支部合同例会

日時：2018年9月16日(日) 13:00~18:00

場所：大学コンソーシアムやまがた ゆうキャンパス・ステーション

プログラム

1. 例会開会の挨拶 東北支部長 伊藤 豊 (山形大学)

2. 研究発表

司会 佐藤 和博 (弘前学院大学)

(1) 木下 哲生 (防衛大学校) 「夏目漱石が『坊ちゃん』で描きたかったのは『対立の構図』だけなのか？」

(2) 矢島 真澄美 (東北学院大学) 「英国人写真家ハーバート・ジョージ・ポンティングが捉えた日本の街並み—『動く被写体』に対する視点とその表現—」

司会 鈴井 宣行 (創価大学)

(3) 梁 鎮輝 (宇都宮大学大学院) 「露伴における近代中国知識人の影響—『墨子』論の展開を通じて—」

(4) 董 航 (お茶の水女子大学大学院) 「藤井懶斎における『迪吉録』の受容」

司会 金塚 基 (東京未来大学)

(5) 今野 善信 (宇都宮大学大学院) 「『葬送の自由をすすめる会』におけるゼロ葬をめぐる死後の人格権について」

(6) 野田 晃生 (筑波大学大学院) 「筒井康隆の断筆宣言について」

司会 佐藤 静 (宮城教育大学)

(7) 小林竜一 (江戸川学園取手高校) 「SDGs Study Tour に於ける高校生の意識変容」

(8) 森崎巧一 (京都経済短期大学)、高木亜有子 (湘北短期大学) 「対比較 WEB アンケートツールと画像分析ツールの開発の報告」

3. 例会閉会の挨拶 関東支部長 近藤 俊明 (東京未来大学)

支部長 近藤 俊明

中部支部

*【報告】 2018年度第1回役員会（メール会議）

日時：2018年9月16日（日）

1. 審議事項

- (1) 香港スタディツアー開催決定：2018年12月7日（金）～10日（月）・中部支部主催（担当：澤田敬人副支部長、樋口謙一郎会員）
- (2) 第10回中部支部大会開催決定：2018年11月11日（日）12:00～17:00・椋山女学園大学（会場責任者：樋口謙一郎会員）
- (3) 3月中部支部・例会総会開催決定：2019年3月21日（土）・愛知大学豊橋校舎（会場責任者：杉本貴代会員）

*【お知らせ】 第10回中部支部大会

日時：2018年11月11日（日）12:00～

場所：椋山女学園大学星が丘キャンパス

実行委員長：樋口 謙一郎（椋山女学園大学）

プログラム（予定）：韓国のNPOを招いての文化交流、学術的交流を目的とする交換講演、および自由研究発表等。

本部ホームページから発表申し込み書類等のご案内をいたしますので、奮ってご応募願います。

支部長 白鳥 絢也

関西支部

*【お知らせ】 2018年度10月例会

日時：2018年10月27日 14:00～17:00

会場：同志社大学今出川キャンパス 良心館402教室、403教室

プログラム

1. 研究発表（14:00～16:00 良心館402教室、403教室）

【良心館402教室】

- (1) 川里 卓（名古屋大学大学院）「バルクソンと『アンティゴネー』における「二つの掟」—『道徳と宗教の二源泉』の考察を通して—」
- (2) 道合 裕基（京都大学大学院）「釣巻和『童話迷宮』における小川未明童話の受容について」
- (3) 周 堂波（大阪大学大学院博士後期課程、中国・武漢理工大学）「『庭園協会』の設立と後藤朝太郎の中国庭園観」
- (4) 廣田 麻子（和歌山県立医科大学）「『ヘンリー4世第2部』の序幕の‘Rumour’『うわさ』とウェルギリウス『アエネーイス』第4歌の‘Fama’『うわさ』」

【良心館403教室】

- (1) 牛 晶（筑波大学大学院）「依頼談話から見る前置き表現—母語話者と学習者の比較研究を通して—」
- (2) 段 静宜（関西外国語大学大学院）「花ことばに関する認知言語学的考察—日中対照分析—」
- (3) 川村 明日香（大阪大学大学院）「『プライドランド』はどこか—映画『ライオンキング』のアダプテーションと『場所』の変容—」
- (4) 松本 きみゑ（大和大学、大阪大学大学院博士後期課程）「茶書にみる茶道における人間形成」

2. 講演（16:10～17:00 良心館402教室）

大久保 恭子先生（京都橘大学発達教育学部教授）

「世界大戦間期フランスの普遍と中庸をめぐる文化政策」

*【お知らせ】

今後の予定：12月例会 2018年12月22日(土)同志社大学今出川キャンパス

3月例会 2019年3月2日(土)同志社大学今出川キャンパス

支部長 山内 信幸

中国・四国支部

*【お知らせ】

中国・四国支部のこれまでの活動としましては、5月に第40回全国大会を開催しました。今後の活動予定は以下の通りです。

- ・3支部合同大会（関西・中四国・九州）開催予定
- ・支部会（毎年3月：発表・支部総会）開催予定
- ・高知市防災士連絡協議会とのタイアップ

支部長 山下 明昭

九州支部

*【お知らせ】九州支部大会

本年度は、以下の要領で九州支部大会を実施いたします。みなさまのご発表及びご参加をお待ちしております。他支部の会員も大歓迎です。

日時：2019年3月3日(日)

会場：精華女子短期大学（福岡市博多区）

発表申込み：2019年1月末日までに、支部事務局に氏名、所属、発表タイトル、使用機器、発表概要（400字から800字）をメール(yahiro [アットマーク] seinan-jo.ac.jp)までご連絡ください。

懇親会：参加費4千円（2019年1月末までに支部事務局にお申込みください）

支部長 八尋 春海

《事務局より》

事務局長 林 裕二

去る第40回日本比較文化学会・総会において、2期4年間に渡り会長を務められた奥村訓代先生にかわり、八尋春海先生が新会長に就任することが決定いたしました。これに伴い、新事務局体制による学会運営が始まりました。学会運営上の様々な対応や処理などを毎日のように経験し、前事務局の皆様のご苦勞が身にしみて分かるようになりました。この場をお借りしまして、奥村前会長、前事務局長の藤岡克則先生をはじめとする事務局の諸先生方に心より感謝申し上げます。

新事務局が発足したばかりで、至らぬところもあろうかと存じますが、誠心誠意努力してまいりますので、学会員の皆さまのご協力とご支援のほど、心よりお願い申し上げます。

○会員情報更新のお願い

住所不明により学会誌や会報をお届けできない会員の方がいらっしゃいます。就職、転勤等によるお引越の際には、忘れずに会員調査書に新情報をご記入の上、会員調査書送付先アドレスまでお送りください。なお会員調査書は学会ウェブサイトよりダウンロードしていただけます。

<日本比較文化学会 ウェブサイト 入会・会員情報変更>

http://hikakubunka.jp/?page_id=97

<入会申込書・会員調査書送付先>

あゆみコーポレーション（業務委託先） hikakubunka@a-youme.jp

○会費納入のお願い

会費の納入にいつもご協力いただき感謝いたします。2年以上未納(学生会員については1年以上)の場合には会員資格を失うこととなりますのでご注意ください。

<会費振込情報>

郵便振替口座番号：02570-6-8921 加入者名：日本比較文化学会
振り込みの際には、所属支部と何年度分の会費であることを明記してください。

《2017年度決算・2018年度予算報告》

2017年度日本比較文化学会 決算			2018年度日本比較文化学会 予算	
科 目	2017年度予算	2017年度決算	科 目	2018年度予算
I 収入の部			I 収入の部	
1、資産運用収入			1、資産運用収入	
利子	160	12	利子	160
2、会費収入			2、会費収入	
一般会員	2,838,000	2,674,000	一般会員	2,833,000
賛助会員	10,000	20,000	賛助会員	10,000
3、事業収入			3、事業収入	
『比較文化研究』配布収入	6,000	0	『比較文化研究』配布収入	6,000
4、寄付収入			4、寄付収入	
寄付収入	0	0	寄付収入	0
5、その他			5、その他	
	0	0		0
当期収入合計(A)	2,854,160	2,694,012	当期収入合計(A)	2,849,160
II 支出の部			II 支出の部	
1、大会開催関連費			1、大会開催関連費	
第39回大会費	300,000	300,000	第40回大会費	300,000
第39回大会・海外会員補助	50,000	50,000	第40回大会・海外会員補助	50,000
2、支部運営補助費			2、支部運営補助費	
支部運営補助費	60,000	60,000	支部運営補助費	60,000
3、『研究』発行費			3、『研究』発行費	
編集補助費	500,000	593,266	編集補助費	600,000
発送費	800,000	701,572	発送費	800,000
4、会員活動補助費			4、会員活動補助費	
若手研究者海外渡航費補助	150,000	0	若手研究者海外渡航費補助	150,000
5、提携学会交流費			5、提携学会交流費	
	100,000	130,544		100,000
6、管理費			6、管理費	
事務局費	35,000	9,845	事務局費	35,000
交通費	150,000	133,918	交通費	100,000
通信費	10,000	3,112	通信費	10,000
業務委託費	380,000	366,038	業務委託費	380,000
会議費	100,000	7,992	会議費	150,000
印刷費	50,000	17,280	印刷費	50,000
HP管理維持費	50,000	28,680	HP管理維持費	50,000
『会報』編集補助	27,000	26,800	『会報』編集補助	27,000
手数料(振込み等)	38,000	40,315	手数料(振込み等)	38,000
7、予備費			7、予備費	
	100,000	5,940		100,000
当期支出合計(B)	2,900,000	2,475,302	当期支出合計(B)	3,000,000
当期収支差額(A)-(B)	-45,840	218,710	当期収支差額(A)-(B)	-150,840
前期繰越額(C)	3,787,459	3,787,459	前期繰越額(C)	4,006,169
次期繰越額(A)-(B)+(C)	3,741,619	4,006,169	次期繰越額(A)-(B)+(C)	3,855,329